

## 第 33 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

- と き：令和 2 年 12 月 25 日（金曜日）13 時 00 分から 14 時 20 分まで
- ところ：新別館南館 8 階 大研修室
- 出席者：吉村知事・田中副知事・山野副知事・山口副知事・副首都推進局長・危機管理監・政策企画部長・報道監・総務部長・財務部長・スマートシティ戦略部長・府民文化部長・IR 推進局長・福祉部長・健康医療部長・商工労働部長・環境農林水産部長・都市整備部長・大阪港湾局長・住宅まちづくり部長・教育長・府警本部警備部長・大阪健康安全基盤研究所公衆衛生部長・大阪市健康局首席医務監

### 【会議資料】

#### 会議次第

- 資料 1－1 現在の感染状況・療養状況について
- 資料 1－2 重症患者数の推移
- 資料 1－3 感染状況と医療提供体制の状況について
- 資料 1－4 （参考）国の専門家等の意見の概要
- 資料 1－5 夜間（18 時～24 時）における人口増減状況
- 資料 1－6 休業・営業時間短縮要請への協力状況
- 資料 2－1 レッドステージ（非常事態）の対応方針に基づく要請
- 資料 2－2 （参考）レッドステージ（非常事態）の対応方針に基づく要請 新旧対照表
- 資料 2－3 発生状況及び要請内容に関する専門家の意見
- 資料 3－1 高齢者施設等検査センター（仮称）の設置について
- 資料 3－2 年末年始における体制等について
- 資料 3－3 新型コロナワクチン接種について

### 【吉村知事】

- ・皆さんお疲れ様です。今の大阪の感染状況に関してですが、この間、府民の皆さん、それから事業者の皆さんに時短要請含めた様々なご協力をいただいていたしまして、感染拡大の山は抑えられていると思います。そして感染については、少しずつですが減少傾向にあると分析をしています。
- ・全国的に感染が拡大する中で、普通であれば大阪も感染が右肩上がりというのが本来だと思いますが、その中でも感染を何とか減少傾向に持ってきている。これは本当に府民の皆さん、そして時短要請にも応じていただいている事業者の皆さんのご協力があって、これが今できていると思っています。
- ・一方で病床の逼迫、これは非常に厳しい状況に今なおあります。重症者に関しては、感染のピークの後に増えてくるという傾向がありまして、現状においても重症者の病床使用率は 70%に近いという状況ですし、過去最高の数になる場合もあります。
- ・また、中等症の病床も非常に逼迫しています。大阪においては、60 代以上の方の感染者も多いという

ことで、重症者の予備軍と言われるような方も中等症にたくさんいらっしゃいます。

- ・この状況を考えると、この会議で方向性を決定したいと思います。これまでお願いしている時短要請については、苦渋の判断ですけど一定延長しなければならないと覚悟しているところでもあります。
- ・今日の会議の中で、現在の感染の状況と分析、そして専門家の意見を聞いて、最終的に判断をしたいと思っています。
- ・それから、大阪の現状は感染の拡大の山を抑えて少しずつ減少に向かっているとは思いますが、東京を見ますと、感染は右肩上がりになっているという状況です。非常に速い速度で感染が拡大しています。
- ・これは東京の傾向と大阪の傾向は大都市の傾向で一致しやすい傾向があるのがこれまでの経験です。そして、この冬場に感染拡大力が強くなるというのは、首都圏の状況を見れば明らかだと思っています。
- ・この波はいつ大阪に来てもおかしくないという状況だと思っていますので、危機感をもって対応しなければならぬ時期だと思っています。
- ・そういったこともあわせて考えて、本日の本部会議で大阪府としての方向性を決めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

※資料1-1に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-2に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-3に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-4に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-5に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-6に基づいて、危機管理監より説明。

#### 【山野副知事】

- ・資料1-1の14ページから16ページですが、健康医療部の分析として各世代がだいたい横ばいもしくは減少傾向にあるという中で、(14ページと16ページを見ると)市内の20代が感染経路不明も含めて、足元で上昇傾向にあります。ここについて、原因はどのようなふうに分かっているか教えてください。

#### 【健康医療部長】

- ・リンク不明の方が非常に多いので、こういった行動によるかというところまでは分析はできませんが、先ほど危機管理監からお話がありました若い方の人出が若干戻り気味であるということと関係するのではないかなと思います。いずれにしても、次の感染拡大のきっかけになりかねない傾向ですので、非常に注意を払う必要があると考えています。

#### 【山野副知事】

- ・国の分科会でも家庭内感染を引き起こす原因になっているようなところもあるようなので、その動向をよく注意するよう、お願いできればと思っています。

- ・それからもう一つ、資料の1-6ですが、東京都は店舗の協力がなかなか得られない一方で、(大阪では)8割、9割が非常に協力的にやっていたというのですが、この調査は大阪市と協力しながら、どういう取組みがなされているのか教えていただければと思います。

#### 【危機管理監】

- ・まず、休業要請にあたりましては、各種組合の方に協力の要請をお願いいたしております。
- ・それに加えて、資料1-6の一番下書いてありますけれども、営業時間前に店舗責任者への聞き取りと同時に協力要請もいたしております。
- ・最近は大阪市の消防局が年末の警戒活動をやっておられるんですが、それに併せて協力要請も呼びかけをしていただいております。

#### 【吉村知事】

- ・まず、山野副知事の意見に関連してですが、20代だけを見ると(陽性者数が)少し増えています。府民の皆さんへの呼びかけは、今は全世代に呼びかけしていますが、20代に絞った方がメッセージとして伝わりやすいのかどうか、いかがでしょうか。
- ・今までの議論の中で、重症しやすいのは60代の方が多いということで、高齢者に限定した呼びかけがどうかという議論も一時期していましたが、今はそうした方法をとっていません。「20代から50代の世代の人は動いてもいい」「高齢者が自粛しておけばいい」と受け止められると、逆にそこで1次感染が広がってしまい、高齢者の方への感染を防ごうとしているのに逆効果になってしまう側面もあるので、広く呼び掛けています。
- ・(20代に限定して自粛を呼びかけることで)20代以外の方は大丈夫と受け取られるのはよくないですが、20代の方にメッセージを届けたいので、そのあたりはどう考えていますか。

#### 【健康医療部長】

- ・国の分科会で専門家が明確におっしゃっていますが、20代に限らず20代から50代の方の行動が結果として高齢者の方への感染拡大に繋がっているということです。ただ、資料1-1の14ページ、15ページを見ていただくと、特に大阪市内の40代50代の方に効果が出ております。30代の方についても効果が出ております。ここは引き続き続けていただきたいと健康医療部としては考えています。
- ・一方で少し気になるのが、20代の方・市外の方も含めて、全体的な行動変容が必要だというメッセージを発した方がいいのではないかと私自身は考えています。ここはご意見いただきたいところです。

#### 【吉村知事】

- ・(資料1-1の14ページの)グラフを見ると、20代(の陽性者数)が増えています。ただ、直近1週間では(人口10万人あたりで)44.98から47.55という範囲の増え幅ですし、東京のように完全右肩上がりの山になっていません。あとは、全体の府民の皆さんへのお願いによって、全体の感染者が減っている傾向にあります。全世代の方に呼びかけるのが一番効果的ではないかと思うのですが、皆さんは何か意見がありますか。

#### 【教育長】

- ・20代の方の属性についてですが、学生・社会人などは分からないのでしょうか。

#### 【健康医療部長】

- ・そこまでの分析ができていません。大学でもクラスターが発生しています。ただ、教育活動の中で起こっているというよりは、どちらかというプライベートの活動、例えば飲食等あるいは運動・スポーツ活動を含めたそういう活動の中で起こっているということもあります。私自身は若い方の年末年始のグループでの活動、帰省・飲食を含めた活動自粛の呼びかけを、年代を問わずに広く呼びかけるのが良いと考えています。

#### 【教育長】

- ・東京は学生が多いまちですので、学生が繰り出して急増しているというのは容易に想像がつくと思いますが、(資料1-1の14ページの大阪府の20代のグラフをみると、人口10万人あたりの陽性者数は直近3週間では)51.25、44.98、47.55と推移しており、トレンド化すると急増というわけではないので、私自身の考えとしては20代30代も含めて、全世代に呼びかけることを継続するのがよいと思います。

#### 【吉村知事】

- ・では、府からの呼びかけとしては、全体の呼びかけをしたいと思います。僕はいろんなところで発信する場があるので、こういった傾向があることを語れるときは語ろうと思いますが、メッセージとしては全体への呼びかけをしようと思います。
- ・あと、大学に対してですが、いろいろ今までお願いしていると思いますが、20代の陽性者数が東京ではもちろん右肩上がりですし、大阪でも少し増えつつありますので、大学の中でのサークル活動や飲食活動はもう一段注意を払ってほしいという大学への通知を府からやってもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。
- ・あとは、経済3団体に対しても、若い社員向けに呼びかけをできないでしょうか。

#### 【健康医療部長】

- ・大学関係者の方には学生への周知についてお願いしていますので、あらためて20代の若い方の行動変容が大事だということをお願いします。
- ・企業に関しましても、継続して事業内クラスターが連発していますので、事業所に対するお願いもあらためてさせていただきます。

#### 【吉村知事】

- ・山野副知事の意見でもありましたが、時短要請の効果についてですが、東京圏では(自粛要請への)協力が難しい中、大阪においては8割から9割と、多くの事業者の方がご協力をいただいています。
- ・その裏には、事業者の協力に加えて、役所からも現場の見回りであったり声掛けであったりしているということでもありますから、引き続き強化してもらいたいと思いますのでよろしくお願いします。

#### 【危機管理監】

- ・当初は年末まで協力要請するというものでしたけども、年を越えて時短要請することも視野に入っておりますので、現地の確認につきましても、年末で終了するのではなく延長の方向で検討していきたいと思っています。

#### 【吉村知事】

- ・あと、現状を見ると、どうしても病床が逼迫しています。その中で、二つポイントがあります。一つは病床をさらに拡大していくというベクトルと、もう一つは陽性者を減らしていくという二つのそれぞれのベクトルが相まって、全体としてコロナに対する体制は強くなっていくと思います。
- ・まず、全体の陽性者ですが、どうしても60代以上の高齢者の陽性者が重症化しやすいですし、病床の逼迫にも直結しています。なぜ60代以上の方が多いのか、ずっと議論になっているところなんですけど、この間いろんな専門家の意見も受けていますが、定説はないと思います。
- ・現時点で専門家の意見も踏まえて考えると、若い世代と高齢世代との生活圏が非常に近いというのはあるかと思いますが、それ以外に、大阪でなぜ60代以上（の陽性者）が多いのか、そのあたりはどう分析されていますか。
- ・なお、施設の数も絶対数がそもそも東京より多いので、まちの高齢化が進んでいることもあるのかなと思うのですが。今まで議論し尽くして、なかなか答えが出ないところなので、これ以上は難しいのでしょうか。

#### 【健康医療部長】

- ・引き続き、企画室でも分析いただいておりますが、高齢化率が大阪の方が（東京より）4ポイント高いということと、3世代同居の割合が東京1.8に対し大阪府は2.5ということ、この2点がわかっていることです。その他の指標との関連も含めて、企画室と分析についてご相談していきたいと思っております。

#### 【吉村知事】

- ・3世代同居率は大阪の方が東京より高いんですね。この分析が本当に難しく、専門家も分からないとおっしゃっているのですが、突破口を見出したいと思っていますので、引き続き検証すべき課題と認識しておいてもらえたらと思いますので、よろしくお願いします。
- ・あと、全体の陽性者が減ってくれば重症者が減ってくるのは、間違いのない傾向で、非常に重要だと思っています。現状は全体の陽性者は少しずつですけど減っていています。一方で、東京圏を見ると明らかに右肩上がりになっています。今までの傾向でいくと、東京で起きていることは大阪で起きる、同調しやすい、非常に似た曲線を描きます。絶対数の差はありますが、似た曲線を描いてきたのがこれまでの経過だと思いますが、今は何とか本当に府民の皆さんと事業者の皆さんの協力のおかげで下がっています。なぜ東京が上がってきて、大阪が下がっているのか、大阪健康安全基盤研究所は何か意見がありますか。今、東京と同じような波が来たら、大阪の医療状況であれば耐えられない状況になると思います。

【大阪健康安全基盤研究所 公衆衛生部長】

- ・具体的なことはわかりませんが、数字で見た場合、実効再生産数は東京の方が今の時点では高いことは一点あります。もう一つは、大阪の医療体制と東京の医療体制は当然違います。ベッド数やICUの数字も人口当たりでみれば東京の方が多いかもかもしれません。あとは、民間病院と公的な病院との間でICUの融通もあります。

【吉村知事】

- ・病床ではなくて、陽性者の拡大の傾向の分析はどうですか。イギリスでは変異株が生まれたと言っていますが、日本政府は入ってきていないという立場です。大阪と東京は同じような都市構造ですので、今まで同じような動きをしているので、今回も同じような動きする方が自然だと思います。

【大阪健康安全基盤研究所 公衆衛生部長】

- ・変異株については、現時点ではなんとも言えないと思います。公式の見解では、国立感染症研究所が調べたところ、今のところ日本では見つかりません。ただし、全体の患者数から集めた検体数の5%から10%しか解析できてないのでわかりませんが、少なくとも解析した段階では、イギリスや最近では南アフリカが言っている変異株は見つかりないと聞いています。ただ、イギリスや南アフリカでは10月から出ているらしいので、日本に入ってもおかしくはないと思います。

【吉村知事】

- ・東京圏では、かなりの右肩上がりの状況になっています。時短要請などをしながらでも、そうなっています。同じような都市構造で、同じような季節で右肩上がりになっていると。大阪もそうなる可能性は十分あるってということなんですよ。

【大阪健康安全基盤研究所 公衆衛生部長】

- ・正確なことは存じあげませんが、大阪の時短要請は9時で、東京は10時だったと思います。その1時間が飲んでいて人にとって大きいかわかりませんが。あと、要請には法的拘束力はないわけですから、大阪の数字は感染防止ステッカーが貼っているお店で9割、貼っていないお店でも8割が協力いただいているということなので、東京はどのくらい（要請が）守られているのか、ということもわかりませんが（関係していると思います）。

【吉村知事】

- ・あともう一つのベクトル、病床の拡大についてです。ICUはもともと数に限りもあるので、だからこそ夏から重症センターを進めてきましたが、本当に多くの方のご協力で動かすことができています。
- ・ただ一般病床については、大阪では約7万病床あります。先日の医療者の代表者が集まる会議で基準を作ったわけですが、一般病床の拡大について、昨日の会議を受けて、どういう状況ですか。僕は裾野を広げていかなきゃいけないと思うのですが。

### 【健康医療部長】

- ・医療体制については、極めて逼迫しています。重症病床については重症センターを合わせて200強、軽症中等症については約1,200床の運用を行っておりますが、これがギリギリの運用ということです。重症については、今の200強というのが大阪が対応できる限界の数字ではないかと私自身は思っています。
- ・軽症中等症につきましては、高齢の方が増えているということで、受け入れていただく医療機関の裾野を広げていく必要があるということで、対策協議会では、療養病院および二次救急110機関に、プラスアルファの受け入れ病床の確保についてご議論いただいて、病院の体制によっては受け入れ不能だというご意見もありましたが、要請するということについてはおおむねの了解をいただきました。今週中にも各病院に新たな病床確保の願いを送らせていただく予定です。
- ・それに加えまして、知事とご相談した上で、新たな病床確保に関する支援策についても（会議で）ご相談をさせていただきたいと考えています。

### 【吉村知事】

- ・支援策については、僕は強化すべきだと思っています。もちろん、まず病院の理解・協力がなければ広がらないので、是非病院の方にはご協力お願いしたいというスタンスで裾野を広げていくことを進めていきたいと思っています。
- ・その中で、もちろんお金で解決できるような問題ではないことは分かっていますが支援金も重要だと思っています。看護師がボーナスカットになっていると報道でも聞きますが、それはおかしいと僕も色んなところで発信をしています。既存病院で働かれている医療従事者の方の支援の部分と、新しく（受け入れ）病院になってくれたところへの支援、僕は軸として、この二つを大きな方向性とししました。
- ・国に対しては12月22日に要望していますが、今日、田村厚生労働大臣からも、重症病床については1床1,500万円、中等症については450万円の支援をすると（発表したと）という報道もありました。この件について、何かありますか。

### 【健康医療部長】

- ・今は田村厚生労働大臣の会見情報だけになっておりますが、まもなく担当者向けの説明会が開催されますので、国の支援メニューと府がやろうと思っていた事業と、どのぐらいの一致があるのか至急精査したいと考えています。

### 【吉村知事】

- ・既存の病院で看護師などコロナの治療を最前線でやってくれている皆さんのボーナスカットはあってはならないですし、そういう人達の人件費に協力金を使えるのかどうか、ここはしっかり確認してもらいたいと思います。
- ・それから、新しく病床を確保するところにも当然適用になるとは思いますが、国の説明をしっかりと聞いてもらって、それを踏まえて大阪府としてさらにする必要があるのか、今まで僕らが思ってきたよう

なことが実現できているのかどうか、ということ判断したいと思いますのでよろしくお願い致します。

- ・いずれにしても国か、あるいは大阪か、コロナ陽性者の受け入れをしてきている病院、これから受け入れてくれる病院の支援は、さらに力を入れていかなければいけない分野だと思っています。医学的な基準は、先日の会議で方向性が決まったと思いますので、何とか大阪全体の医療資源の中で、コロナの病床、特に軽症・中等症を増やせないかということに力を入れていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

※資料2-1に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-3に基づいて、健康医療部長より説明。

### 【吉村知事】

- ・まず、今の感染の状況についてですが、府民の皆さん、事業者の皆さんのご協力、専門家の皆さんの意見もそうですけれども、感染拡大の山は抑えつつあります。
- ・ただ、医療体制が非常に逼迫している状況であり、また全国的にも感染が拡大している傾向にあることも考えると、やはりここは苦渋の判断ですけれども、今の時短要請のお願いを含めて継続せざるを得ないということは専門家の意見でもあるし、僕自身もそうだと思いますので、お願いを継続したいと思います。
- ・期間ですけれども、1月11日までの間、これは国においてもGo Toは1月11日まで全国的に止めるという大号令が大きな方針も示されているところでもありますし、年末年始の期間を通じて、国全体の感染拡大も抑えようという中で1月11日が設定されているということもあります。
- ・あとは、我々もこれまで2週間という要請期間を設定してきましたので、1月11日に設定したいと思います。
- ・それから、専門家から年末年始の過ごし方について、詳細にメッセージを出すべきという意見もありました。それを踏まえまして、忘年会・新年会、そして成人式の後の懇親会への参加は控えてもらいたいですし、帰省も控えて下さい。それから、カウントダウン等の主催者がいないイベント参加も申し訳ないですが、控えて下さい。初詣についても、できるだけ密を避けて時期の分散をお願いしたいという具体的なメッセージを出して、府民に呼びかけしていきたいと思っております。
- ・成人式そのものについては、一生に一度のことでもあるので、成人式後の飲み会・懇親会については大阪府から一律で参加を控えて下さいとメッセージを出していきます。
- ・一方で、成人式そのものをどうするかについては、先ほど申し上げたとおり、一生に一度のことでもありますし、飲食を伴うものでもありませんので、それぞれの市町村において判断してもらおうと思っております。大阪府が一律に方針を出すことはしません。
- ・それから、時短要請についてですが、お酒の提供を伴う飲食店については、時短要請が続いているということで非常に厳しいお願いを継続せざるを得ないということになります。
- ・それに対する補償ですが、大阪市の松井市長からも、もし大阪府が決定するのであれば、これまでやってきた20万円の上乗せを大阪市内において継続するという意見をいただいているところです。
- ・ですので、今回の1月11日までの時短要請のお願いで、大阪市の独自の20万円の上乗せも入れ

ば、合計 72 万円の支援金になります。

- ・これも不十分だと言われればそこまでなのですが、できる限りのところでそういった大阪市とも協力をして、大阪市内全域になりますが、引き続き時短要請をしていきたいと思いを。
- ・あとは、それぞれの団体等については先ほど申し上げたとおり、しっかりやってもらいたいと思いをしますのでよろしくお願いします。

※資料 3-1 に基づいて、福祉部長より説明。

※資料 3-2 に基づいて、健康医療部長より説明

※資料 3-3 に基づいて、健康医療部長より説明

#### 【山野副知事】

- ・資料 3-1 の、高齢者検査センターの件で、少し具体的にお伺いできればと思うのですが、保健所を通さずに高齢者施設の検査をきちんと行政検査としてできるようにするという仕組みは、福祉部が今回取り組んでくれて非常に画期的だし、全国的にも先進的な取り組みじゃないかと考えています。
- ・非常に良い仕組みだと思いますし、高齢者施設にできるだけ便宜がよいように、あるいは負担をかけないように検体の採取や、検査をすることが大事だと思います。
- ・先ほど部長の説明で、拠点の設置という話がありましたけれども、今具体的にイメージされているようなところがあれば教えていただければ。

#### 【福祉部長】

- ・調整中ですが、検査機関が営業所を持っていますので、そこを活用することと併せて、大阪府の府民センターがバランスよく配置されていますので、そこにもご協力いただいて、拠点を置きたいと思っています。
- ・その他、どれくらいの確保できるかということですが、できるだけ多くの拠点を確保したいと思っています。

#### 【山野副知事】

- ・是非、高齢者施設が簡単にと言いますか、負担にならないように、あるいは、すすんでこの検査を受けられるような仕組みを構築していただければと思いますのでよろしくお願いします。

#### 【吉村知事】

- ・この高齢者検査センターについては、非常に重要だと思いますし、僕自身も画期的な取り組みだと思います。
- ・この仕組みを作って、検討してくれた福祉部、本当に色々大変だと思いますが、これを早く実現するために進めてもらいたいと思います。
- ・前半の部分で健康医療部からも話がありましたが、やはり今、命をコロナによってなくされる方の多くは施設で生じているという状況でもあります。

- ・当然、施設には、高齢の方と、あとはどうしても基礎疾患があったり、抵抗力が弱っている方も多い。
- ・施設の皆さんもものすごく注意をされていると思いますが、やはりどうしてもそこに入り込んでしまう。
- ・陽性者が分かった場合の措置は、健康医療部で、全件検査も含めて体制を整えていますけれども、その前の段階の予防措置というのを、何とか強化できないかと思っていたところでもあります。
- ・ここについては、大阪府は元々東京よりも高齢者施設の絶対数がそもそも多いというような、人口が少ないけれども多いというエリアでもありますし、職員だけでも20万人ということで、非常に大規模でありますから、なかなか一律にというのは難しいのかなと。
- ・ただ、市町村単位で一律に検査できないかという取り組みを始めてもらっているところもあるので、そこをどんどん増やしていただけたら、本当に我々も助かりますが、大阪府のすべき役割として、高齢者施設での陽性者が判明した後の仕組みはかなりこれまで組んできましたけれども、その前の検査体制を強化するということです。
- ・今回のこの仕組みは、スマホのみで検査ができるということなので、これは画期的だと思います。
- ・まず、スマートシティ戦略部もうまく連動してできたと思うのですが、入りの色んな情報の登録など、このシステムについて、これは行政検査ですから、保健所が行政検査として認めるレベルのものになると思うのですが、入りの部分の開設はどのぐらいの日数でできるのですか。

#### 【スマートシティ戦略部長】

- ・そんなに難しいシステムではありませんので、3日間程度で開発はできると思います。

#### 【吉村知事】

- ・そうすると、最初のシステム作りは3日程度ですぐできるということですから、基準などについて、保健所ときっちり情報を取り合いながらお願いしたいと思います。
- ・それから、拠点の数ですが、先ほど、府民センターやいろんな場所を想定しているということですが、だいたいどのぐらいの拠点数という見込みですか。

#### 【福祉部長】

- ・最大で20ヶ所ぐらいであれば、検査機関の方がちゃんと回収できるということなのですが、これから、当然地域性を見てバランスよく配置をしなければいけませんので、引き続きできるだけ多くの拠点を確保したいと思います。

#### 【吉村知事】

- ・イメージとしては、電話のやりとりはないわけですから、電話のやりとりをするような必要がある場合は今までとおり保健所にやってもらおう。
- ・電話のやりとりなく最後の検査まで一気通貫でやるということなので、コアセンターみたいなものあって、その検体をやりとりする拠点、あるいはセンターと言っていいのかどうか分かりませんが、そういう仕組みを構築するということですよね。

**【福祉部長】**

- ・当然、司令塔になるところがいろいろありますので、基本的にはWebでしか受け付けませんが、中には確認する必要があるような場合は電話することはあるかもしれません。受付としては電話では受け付けないということでもあります。

**【吉村知事】**

- ・司令塔のセンターがあって、高齢者施設と検体のやりとりをするところが20ヶ所のあるということですね。

**【福祉部長】**

- ・そうです。基本的には、各拠点に検査キットをいくつかは備え付けたりするのですけれど、当然その補充であったりとか、そういうこともありますし、そこに人も貼り付けますから、そういう指示をする司令塔ということで1ヶ所設けるといことです。

**【吉村知事】**

- ・唾液の検査をやるということですね。

**【福祉部長】**

- ・そうです。

**【吉村知事】**

- ・唾液の検体の容器を渡して、高齢者施設か休んでいる従業員がそこで自ら取ってもらって、その分所のセンターで回収するということですね。

**【福祉部長】**

- ・そうです。

**【吉村知事】**

- ・その時のやりとりというのは、大阪府下で20ヶ所であれば、それなりの数だと思うのですが、高齢者施設クラスター発生前の状況ですから、基本的には施設に（容器を）取りに来てもらって、持ってきてもらうと。

**【福祉部長】**

- ・そうです。基本形としては、どこの施設も一定車をお持ちだと思いますので、しかも症状が出始めということですから、陽性者がたくさん出ているという状況でもないと思いますので、施設の職員の方に取りに来ていただいて、持って帰っていただいて施設の中で唾液をとっていただいて、当然梱包もして、その拠点の方に持ってきていただくということを考えております。

- ・郵便等になりますと、どうしても日にちがかかる可能性もございますので、できるだけ迅速にということであれば、このやり方が一番早いと思います。ただし、郵便で対応するようなケースもあるかもしれません。それは別途考えようと思っております。

**【吉村知事】**

- ・原則的にはクラスターが発生する前の状況ですし、車等もあるでしょうからやりとりしてもらおうというのが一番早いと思うのですが、どうしてもそういったことが難しい施設、例外的な施設もなくはないと思うのです。例外的な施設についてどうするかということも考えておかないといけないと思います。

**【福祉部長】**

- ・そういうケースは直接（施設へ）取りに行くということができればいいのですが、そこはまだ検討する課題と思っています。

**【吉村知事】**

- ・府民センターに土木事務所があるじゃないですか。田中副知事に検討してもらいたいのですけど、土木事務所は土木のパトロールカーもあると思うので、それを容器の運搬に使えるかどうかという課題もあるかもしれないけど、そこを検討してもらいたいと思います。パトロールカーというのは数があるのですよね。

**【田中副知事】**

- ・おっしゃったように、施設の規模など状況によっては、必ずしも往復できるという状況はないでしょうから、都市整備部は現場で色んな機材を持っていますし、全面的に協力してもらいたいと思っています。
- ・また、具体的な手順や注意事項などもあるでしょうから、そこは両部でよく相談してお願いします。

**【都市整備部長】**

- ・府民センターごとに7つの土木事務所がございます、主に工事の施工管理やメンテのために公用車を色々持っております。そういったものは十分活用できると思いますし、府全体の業務かとも思いますので、もちろん協力させていただきたいと思います。詳細については、福祉部とご相談させていただければと思います。

**【吉村知事】**

- ・もちろん原則は数も増える可能性もあるし、高齢者施設が直接持ってきてやり取りしてもらおうという前提だと思うのですが、どうしても例外的な対応というのものもあるかもしれません。
- ・そこは、都市整備部でそういった組織を持っていますので、協力できるところは協力してもらいたいと思いますのでよろしくお願いします。
- ・そういう意味では、できるだけ早く制度構築をお願いします。検査機関との契約等もあると思います

し、色んなものがあると思うのですけれども、本当にこれはできるだけ速やかに高齢者施設対策というのは必要だと思うのでよろしくお願いします。今のところ、1月中には開始ということでもいいんですかね。

#### 【福祉部長】

- ・開始したいと思っています。

#### 【吉村知事】

- ・年末年始の相談体制についてですが、これは僕の定例記者会見でもやりました。年末年始にも関わらず、検査に協力してもらっている医療機関に本当に感謝したいと思います。
- ・大阪府としては、年末年始にコロナの疑いになったらどうなるんだろうと思われる府民の方もいらっしゃると思いますし、僕も記者会見で言いましたけど、皆さんには伝わっていないので、発信の方をしっかりとやってもらいたいと思いますから、ここはよろしくお願いします。
- ・最後に、ワクチンですけど、これは本当に重要だと思います。今も時短要請をお願いしているわけですけど、社会を止めるという大きな影響のあることを今やっていますので、僕はワクチンをできるだけ早く特に高齢者の方に行き届くようにするというのが、すごく重要だと思っています。
- ・若い皆さんの生活もある中、時短要請をしたり、経済を止めるという強烈なことをしているわけで、何とかこれをしなくても、できるだけしなくても済むような社会をめざしていかなきゃいけないですし、その中でワクチンというのは、大きなゲームチェンジャーになる可能性があるんじゃないかと思っています。
- ・ただ、ワクチンが来ても接種に時間がかかるとなったら、その目的が達成できませんので、ワクチンが来るまでの間に、どうすれば最速で高齢者の皆さんに優先接種できるかという体制は、今年中にワーキングを立ち上げて年明け早々には市町村と協議するということですけど、大阪市のよう大都市もあれば、町村のようなところもあって、本当に数も多いですが、できるだけ大阪府民全員に早く行き届くような調整をやってもらいたいし、もし、何か大きな課題があったり、早く行き届かせるためにこういうことが必要ですということがあれば、僕に言ってもらったらいいと思います。そこの検討を早めにやってもらいたいと思いますのでよろしくお願いします。

#### 【健康医療部長】

- ・ワクチンにつきましては、マイナス70度で管理という特殊なワクチンも中に含まれております。そういうワクチンそのものの流通の管理と、それを打つ体制の整備、その体制の整備には医療従事者の確保もありますし、そのことを対象者にきちんとお知らせして接種に繋げるということも、市町村にとっては大変な業務になると思いますので、府としてもしっかりフォローしていきたいと考えています。
- ・また、医療従事者向けの優先接種につきましても、先行して府の方でしっかり考えていきたいと思っています。

以上